

## 平成27年度 生駒市子ども読書活動連絡調整会議

### 市内学校図書館視察記録（要約）

日時： 平成27年11月20日（金）午後1時から  
場所： 生駒市立鹿ノ台小学校、鹿ノ台中学校  
目的： 学校図書館司書配置後の図書館の現状を把握し、今後の学校図書館支援の方法と課題を探る。

【参加者】 岩崎れい、平井富久子、森田桂子、島谷佳子、藤波康幸、吉尾典子、吉村茂

（欠席）森岡伸枝、永島久伸、真銅宏、高橋信子

【司書教諭】 谷口隆紀、柳生章恵、山ノ内武智

【学校図書館司書】 高野綾子（鹿ノ台小学校）、高見嘉奈子、大東桂子（鹿ノ台中学校）、足立美佳、野見香織、浜田幸子、中澤智子、鄭典子、東森智子、小田原佳奈美、喜多香世子、森田あや、山内朋子

【事務局】 向田真理子、松本芳樹、平澤佐千代、清水淳子、春名己容子

### 生駒市立鹿ノ台小学校図書館

#### ◎図書館見学と図書館を使った授業の見学（対象：2年生）

##### ○図書への返却

5時間目始業のチャイムとともに、子ども達が図書館へ飛び込んできて、慣れた様子でカウンターに行き本の返却をする。

##### ○学校司書による読み聞かせ『やかまし村の子どもたち』（岩波書店）

返却後、子ども達は習慣のように図書館前方に設えられた一画へ集まって腰を下ろす。すると、学校司書が学期を通して読み聞かせている『やかまし村の子ども達』の読み聞かせを始める。司書の傍らにはお話の舞台である村の様子が描かれた挿し絵を拡大したものがイーゼルに架けられている。これは、1回分読み進むごとに色鉛筆で少しずつ彩色されていく。前回の読み聞かせタイムで見た絵より彩色された部分が増えていくという具合。それを発見するという楽しみも、この読み聞かせタイムを盛り上げている。

##### ○絵本を活用した授業『ガンピーさんのふなあそび』（ほるぷ出版）

・担任教諭が絵本を読み聞かせしながら、途中途中の場面で子ども達に質問をする。

「ガンピーさんは、ウサギにどんな声がけをしたでしょう？」

→本文は「いいとも とんだり はねたり しなけりゃね」だが、子ども達の答えは動物の特性に沿ったものから思いがけないものまで、自由な発想があって面白い。

友人の答えに刺激されて、正解を求められているのではなく、空想してそれを言葉にすればよいのだと気付いていく子ども達。

- ・最後の質問は、「また いつか のりにおいでよ」と言ったガンピーさんに、動物たちは何と返事をしたか？という問いかけのワークシート。

自分の選んだ動物の気持ちになって答えを書き込み発表する。

子ども達の空想力が発揮され、【登場人物の気持ちを考えて、自分の意見を発表しよう】という課題が、子どもの個性を引き出しながらクラス全体で共有され達成されていた。

#### ○図書の貸出

パソコン導入がすっかり浸透していて、子ども達はたいへんスムーズに貸出していた。

### 生駒市立鹿ノ台中学校図書館

#### ◎学校司書による活動報告

##### ○テーマ別置コーナー

短い時間に選べるようにテーマ別置を増やしている。複本がない場合は別置優先。

「職業」「国際理解」「修学旅行（長崎）」「遠足（奈良・京都）」「部活応援」「教科書活用」「国語の教科書で紹介されている本」等。

##### ○展示コーナー

- ・月別にテーマを決めて特集。スーパーエコスクールに指定されているので、環境問題について啓発できる資料も心がける。

- ・図書委員もテーマに沿って紹介したい本を探しPOPを書く。

- ・朝の10分間読書のためにアンソロジー、短編などを特集していたら、本が動くようになってきた。

##### ○ブックトーク

学校司書が各学年に毎学期実施している。「次のブックトークはいつ？」と、期待されたり、思いがけない子が紹介本を借りて帰ったりするのを見ると、ブックトークは読書意欲向上につながると実感できる。

##### ○その他

- ・リクエストを受け付けている。要望に応じていると蔵書の構成割合でライトノベル率が高くなってしまう。
- ・卒業時に読書記録を渡している。中学生時代の読書、学校図書館の思い出が次の読書意欲へとつながってほしい。

## ～質疑応答より～

### 鹿ノ台小学校

#### 【学校司書による読み聞かせ】

週 1 回くらいの頻度で実施。子どもたちは前回の内容をよく覚えていて、1 回で読みきれないような物語の本でも、学期で読み通すことができる。

#### 【調べ学習】

学校司書が資料を用意する。学校図書館の蔵書のほか、公共図書館からの団体貸出も活用。

#### 【図書的时间】

- ・担任によって時間の使い方はさまざま。
- ・自分で借りたい本を探している子どもには、ひとりで静かに本を選ぶ時間を確保している。同じ学年でも読む力はそれぞれなので、自分で本を選べない子どもが、なんとなくカウンターにやって来て話しかけてくる。そういう時をうまく使って本を読む楽しさを伝えたい。

### 鹿ノ台中学校

#### 【放課後開館】

読書部が図書館を使っている。他の生徒も利用できないかと試験的に放課後に 15 分開館を始めた。

#### 【朝読】

- ・図書館の本でも家から持ってきた本でもよい。
- ・学級通信で教師からも本を紹介している。
- ・図書館から学級文庫への貸出は、(図書館の) 本がなくなってしまうので 5 冊を 2 週間が精一杯。

#### その他

- ・司書配置が 3 日になった学校では、読書意欲向上への働きかけ、教科学習へのサポート、学校図書館の活用が進む。
- ・ふるさとミュージアム等、市の施設の横の連携がもっとできればよい。学校で学びを結びつける。また、乙田浄瑠璃の衣装、映像も残っている。地域で連携して活用していけないだろうか。